

わたしたちの健康

たいじょうほうしん
帯状疱疹

朝霞地区医師会 たぐち まさひと 田口 理史
☎(464)4666

帯状疱疹は水ぼうそうのウイルスが原因で発症する皮膚病です。水ぼうそうのような水ぶくれや赤い発疹が左右どちらか一方に帯状に広がることにより帯状疱疹という病名がついています。発疹は胸や腰にできるというイメージがありますが、全身の皮膚どこにでもできます。

なぜ、治ったはずの水ぼうそうが再び帯状疱疹という病気になるのでしょうか。水ぼうそうは主に子どもの頃にかかりますが、ウイルスの勢いを抑える免疫ができて治ります。しかしウイルスが体からいなくなってしまうのではなく、できあがった免疫が見張り役となり、体の神経節という場所に閉じ込めてウイルスが悪さをしないようにしているのです。ところが病気や疲労などで一時的に見張り役の免疫力が落ちると、ウイルスが再び元気になり、神経節から脱走して神経を通り道にして皮膚の表面に出てきます。その時に神経痛や神経の通り道に沿った水ぶくれや赤い発疹が帯状にでき帯状疱疹という皮膚病になるのです。

体の片側、つまり左右どちらか一方に症状が出るのが、帯状疱疹の特徴です。ピリピリ、チクチクする痛みから始まり、数日後に赤いブツブツした発疹ができ、続いて水ぶくれが現れます。水ぶくれは10日程でかさぶたになり治っていきます。

帯状疱疹のできる場所によって症状は異なります。初期の症状はピリピリ、チクチク以外にも、頭痛や腰痛、しめつけられるような胸の痛みなどさまざまであり、発疹ができるまでは帯状疱疹と分からず、その痛みで脳卒中や心臓病と間違われることもあります。頭部や顔面の帯状疱疹では、耳や顔面に障害がでたり、目の中に炎症が起きたりすることがある

ので、耳鼻科や眼科で治療してもらうこともあります。

帯状疱疹の治療は、ウイルスの勢いを抑える抗ウイルス薬を内服します。症状が重い場合は入院して抗ウイルス薬の点滴をすることもあります。痛みに対しては、鎮痛薬の内服をし、発疹や水ぶくれなどの皮膚症状には、やぶけて化膿しないように軟こうを塗って治療をします。

日常生活で注意する点は、ゆっくり休養をとり、激しい運動や労働は控えるようにします。体に水ぶくれができると、入浴は控えた方がいいのでは？と思われがちですが、体を温めると痛みがやわらぎ、発疹部の衛生状態も保たれますので、入浴やシャワー浴はお勧めです。入浴時は発疹部をゴシゴシこすらずせっけんをよく泡立てて優しく洗い、きれいなタオルで体を拭いてから、発疹部に軟こうを塗るように指導をしています。

帯状疱疹が治った後に、その後遺症である帯状疱疹後神経痛を生じることがあります。帯状疱疹後神経痛とは、ウイルスが神経を通り道にして皮膚の表面に出てくる時に神経の周りに傷をつけて生じます。その傷痕の程度によって症状は異なりますが、高齢者や治療の遅れなどが原因で痛みが悪化することがあります。

帯状疱疹は痛みなどの後遺症も含めて、早めに治療をすれば症状は軽くすみます。体に痛みを感じて帯状疱疹かな？と思ったら、発疹がなくても遠慮なく皮膚科を受診してください。帯状疱疹に限らず、病気は後遺症を残さず治すことが大事です。早め早めに治療を行い健やかな生活を送りましょう。

9月の休日当番医

診療時間：10時～16時

当番医は変更になる場合がありますので、必ず確認してからお出かけください。この時間以外の診療は、志木消防署【☎(472)0119】へお問い合わせください。

	場所	施設名	科目	電話	場所	施設名	科目	電話
3日	朝霞	村山クリニック	内・循内	(471)1636	志木	田口皮膚科医院	皮	(473)8889
10日	朝霞	はねだクリニック	内・外・消内・肛・放	(469)2139	志木	清河眼科医院	眼	(474)3369
17日	新座	新座西山内科眼科クリニック	循内・内・眼・小	(202)1112	和光	和光駅前皮フ科	皮・アレ・美容皮膚科	(450)1102
18日	志木	いわさき内科・循環器科	内・循内	(486)4622	朝霞	北朝霞駅前クリニック	内	(486)6333
23日	朝霞	あさくらクリニック	内・消内・小	(423)8470	志木	内田耳鼻咽喉科医院	耳・気・外	(473)3387
24日	志木	柳瀬川駅前クリニック	内・呼内・循内	(486)6201	新座	牧田産婦人科医院	産婦	(478)1151

◆休日歯科応急診療所◆(新座市保健センター内)
9月18日(月)・23日(土)、10月9日(月) 9時～11時30分
問合せ/☎(481)2211

◆大人の救急電話相談◆ #7000
平日、土曜日 18時30分～22時30分
日曜日、祝休日、年末年始 9時～22時30分
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合
☎048(824)4199

◆救急医療お問い合わせ◆(歯科案内と医療相談を除く)
埼玉県救急医療情報センター ☎048(824)4199

◆小児救急電話相談◆ #8000
月～土曜日 19時～翌日7時
日曜日、祝休日 7時～翌日7時
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合
☎048(833)7911